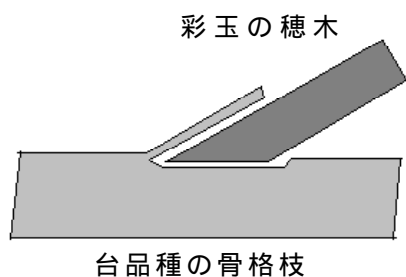


ナシ新品種「彩玉」を短期に生産拡大できる 主枝・側枝同時更新法

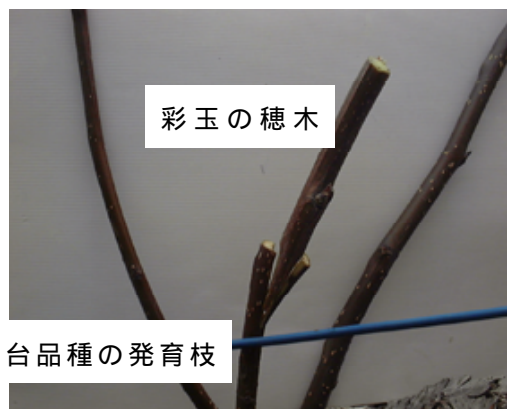
本県で育成したナシ新品種「彩玉」を早期に普及拡大するためには、短期間に生産を拡大できる手法が必要です。

そこで、従来の高接ぎ方法に代わり、秋の芽接ぎ、春の割り接ぎを組み合わせ高接ぎを行い、主枝更新と側枝更新を同時に行うことにより、接ぎ木3年目で、既存品種からの更新を達成する技術を確立しました。これにより、「彩玉」の栽培面積を早期に拡大することができます。



台品種の骨格枝

腹接ぎの模式図



彩玉の穂木

台品種の発育枝

割接ぎの写真

早期に「彩玉」の着果部を確保するために、3月下旬～4月上旬の時期に骨格枝への腹接ぎ、発育枝への割り接ぎを行い、8月下旬～9月下旬の時期に発育枝の基部に芽接ぎを行います。



彩玉の穂から新梢が発生して花芽が着きます。



翌年には「彩玉」が収穫できます。一本の樹に多くの接木を行うことで、3年で樹冠のほとんどを「彩玉」に切り替えることができます。

(園芸研究所 果樹担当 TEL 0480-21-1113)